



会社説明会および
2008年10月期
決算説明会資料

2009年1月8日
株式会社 ミロク
(証券コード 7983)



目次

I. 会社概要	・・・	p.2
II. 2008年10月期連結決算	・・・	p.14
III. 2009年10月期連結業績予想	・・・	p.22
IV. 補足資料	・・・	p.34



会社概要

会社情報

- 社 名 株式会社ミロク(大証2部上場)
- 本社所在地 高知県南国市篠原537-1
- 代表者 代表取締役社長 弥勒 美彦
- 創業/設立 1893年2月/1946年7月(2003年5月 持株会社体制移行)
- 資本金 863百万円(発行済株式総数 15,027千株 2008年10月31日現在)

■ 事業内容及びグループ企業

セグメント名称	主な事業内容	グループ企業	
猟銃事業	猟銃の製造及び販売	◎ミロク製作所 ◎香北ミロク ※ニッサンミロク	◎ミロク精工 ◎梶原ミロク ※ミロク工芸
工作機械事業	深孔加工機・工具の製造及び販売	◎ミロク機械	◎MIROKU MACHINE TOOL INC.
自動車関連事業	自動車用ハンドルの製造及び販売	◎ミロク製作所	※ミロクテクノウッド
その他の事業	木工製品の加工及び販売	◎ミロク製作所	◎馬路ミロク

◎:連結子会社 ※:持分法適用の関連会社

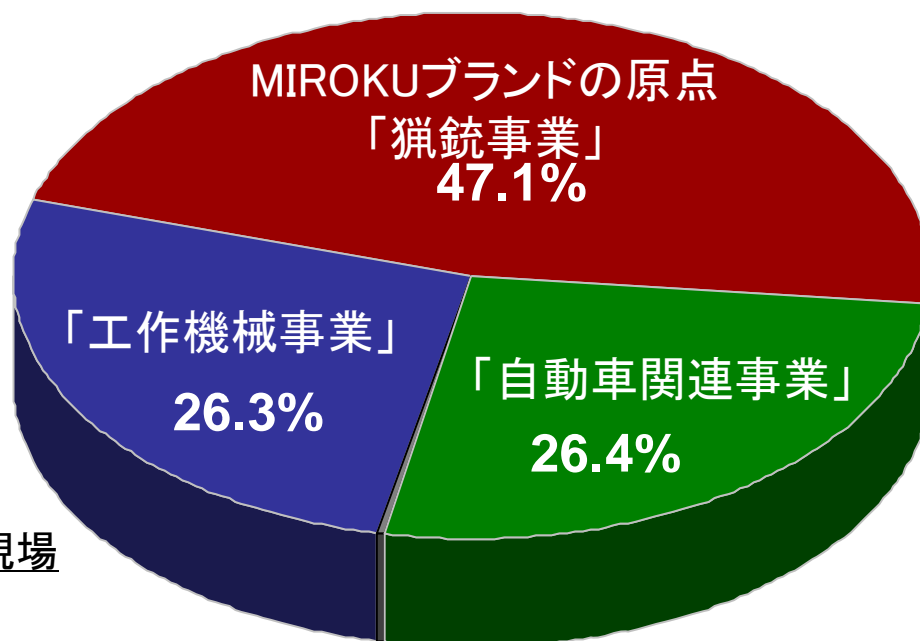
MIROKUグループの特色：事業構成

1. 「猟銃の製造」が中核事業の一つ。わが国では珍しい事業構造。
2. 「猟銃づくり」の技術をベースに中核3事業へと多角化に成功。
3. 中核3事業の“強み”を活用した事業展開を推進中。

連結売上構成：15,223百万円(08/10期)



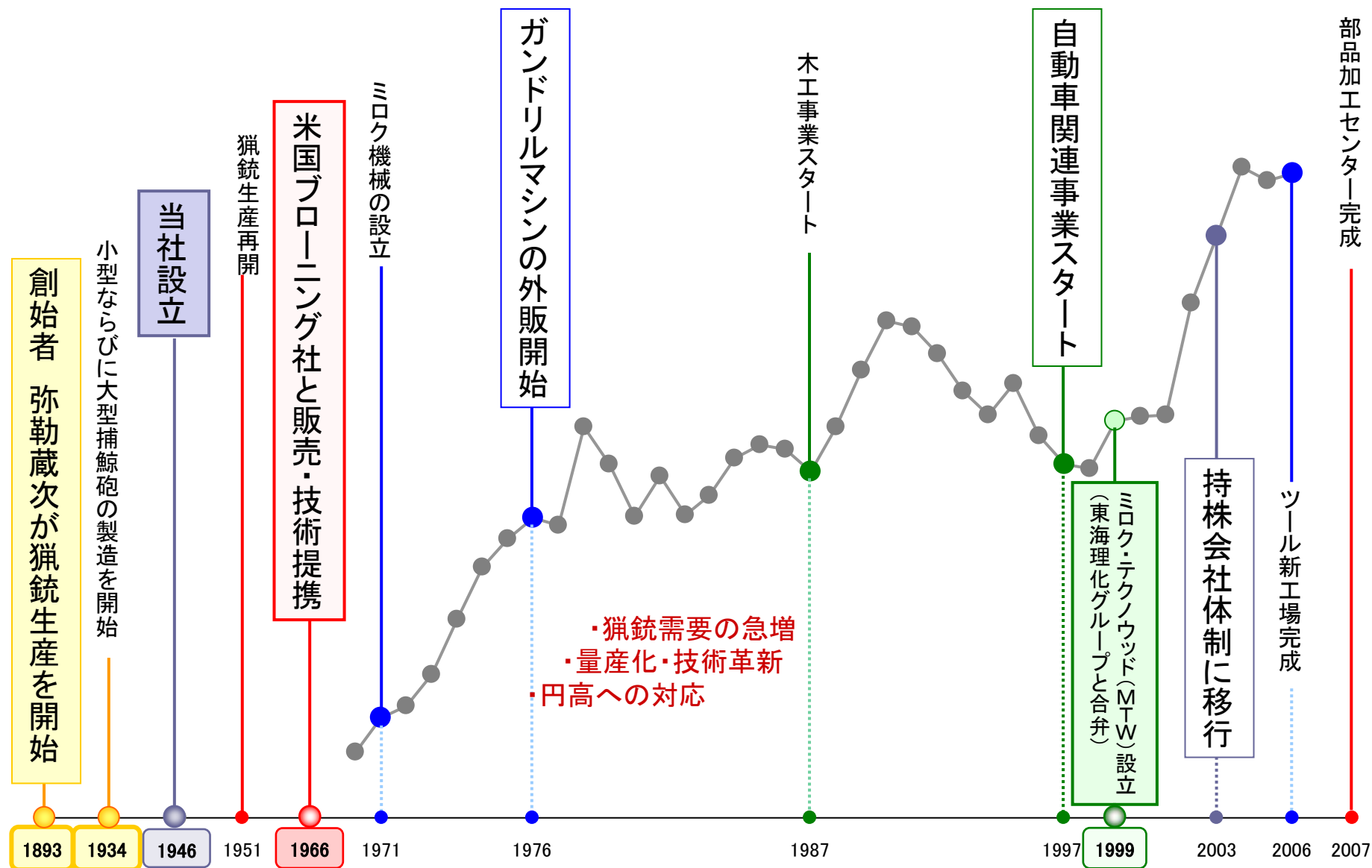
世界屈指の猟銃づくりの現場
から生まれた事業



工業製品の代表「自動車」
に活かされる“匠の技”

「その他の事業」0.2%

MIROKUグループの特色：発展の軌跡

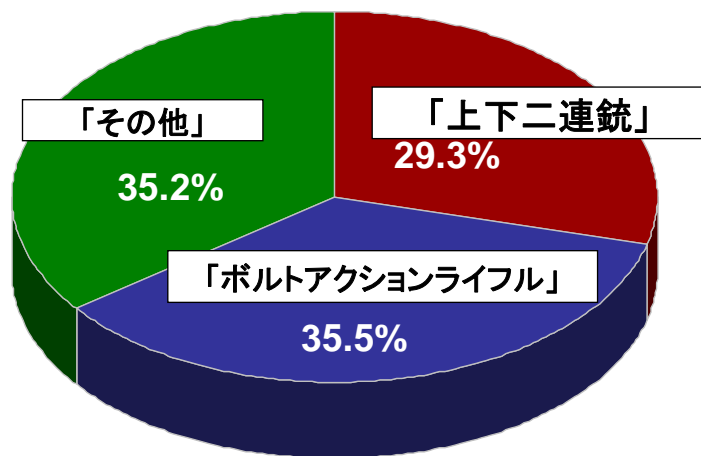


折れ線グラフは売上高の推移

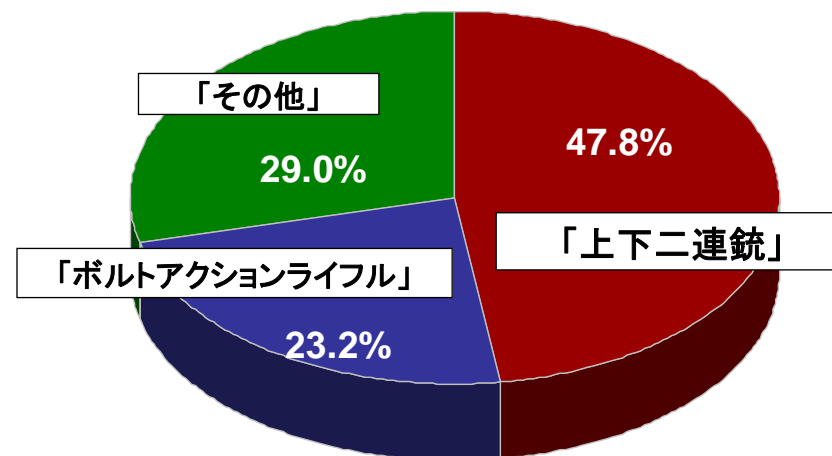
猟銃事業の特色と商品ラインナップ

1. 米国ブローニング社がビジネスパートナー。海外売上比率99%。
2. 機能的・堅牢性・芸術性が求められる「上下二連銃」に強い。
3. ライフルでは新製品「X-BOLT」の製造を開始。高評価を獲得。

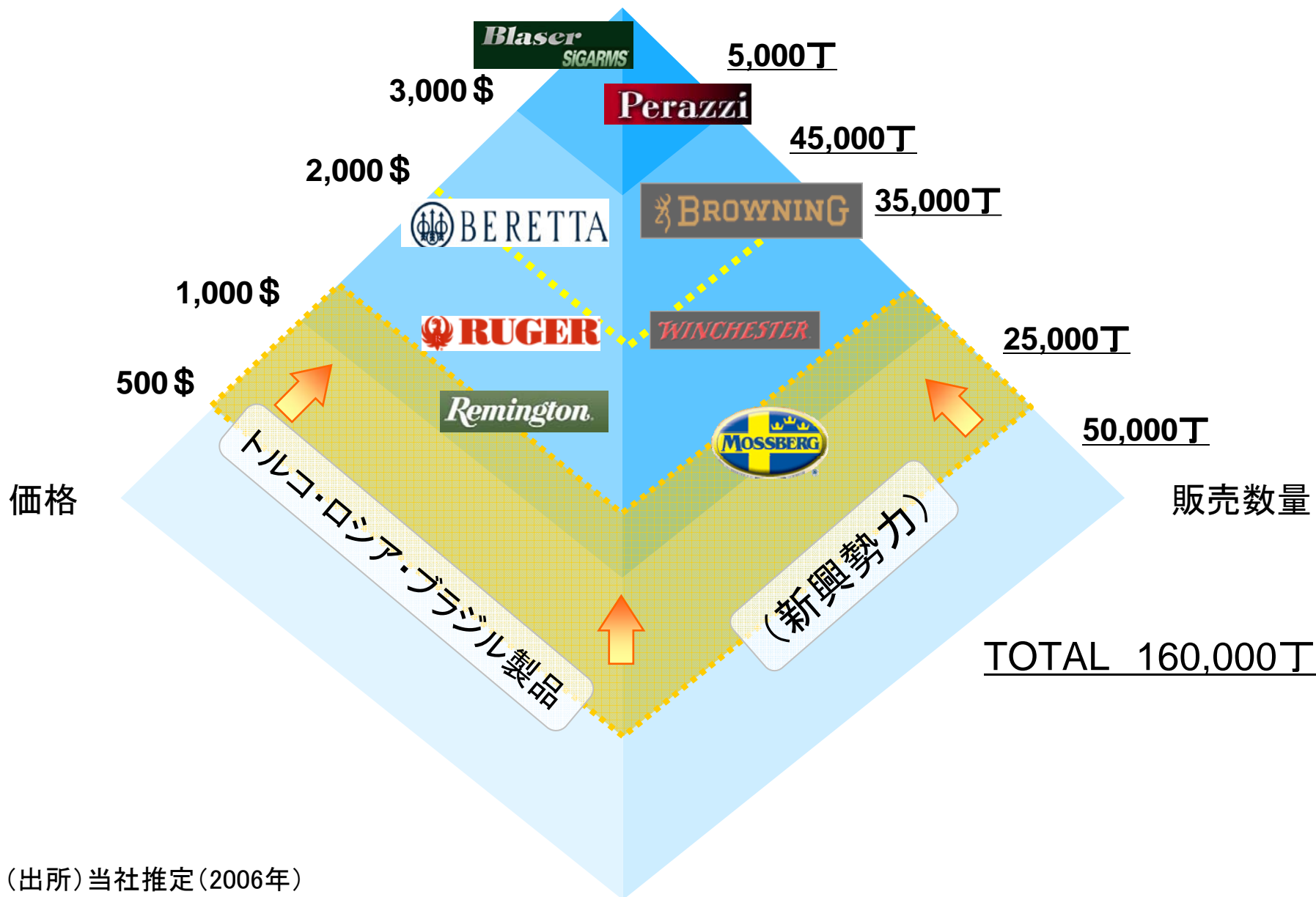
販売数構成：13万丁強(08/10期)



売上構成：7,182百万円(08/10期)



上下二連銃(ショットガン)の市場構造(米国の場合)



(出所) 当社推定(2006年)

グローバル展開を支える「MIROKUの猟銃づくり」

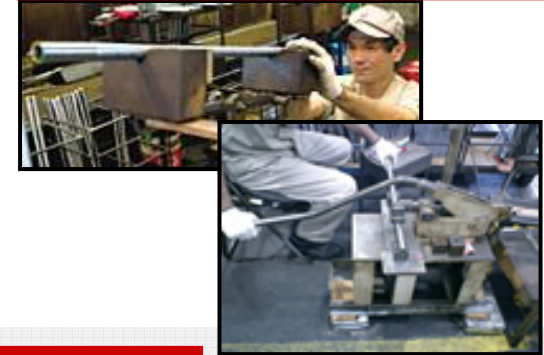
堅牢な銃床を作る目止め・磨き



銃身の孔あけ



熟練技術による曲がり直し



木材加工技術

Citori Privilege

深孔加工技術



彫刻技術

金属接合技術
金属の精密加工技術

猟銃を個性的に飾る彫刻技術

- ・手彫り
- ・エッチング
- ・ローラー彫刻
- ・レーザー彫刻



熟練技術による仕上げ・調整・仮組み



- ・削り出し
- ・ゼロ嵌合

高圧に耐える銃身

金属精密加工技術・銀ろう付け



猟銃づくりの要素技術の活用

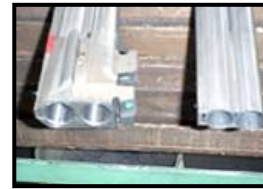
木材加工技術

堅牢な銃床を作る目止め・磨き



金属接合技術
金属の精密加工技術
彫刻技術

彫刻・銃身粗磨き・銀ろう付け



深孔加工技術

銃身の孔あけ



自動車関連事業

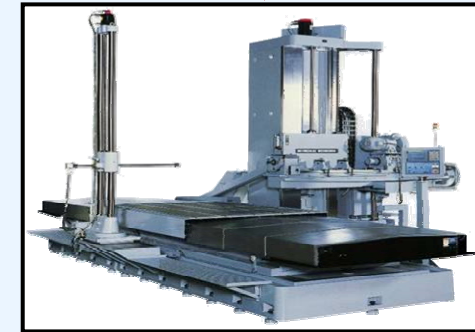


純木製ハンドル、純木製シフトノブ

工作機械事業



ツール(ガンドリル)

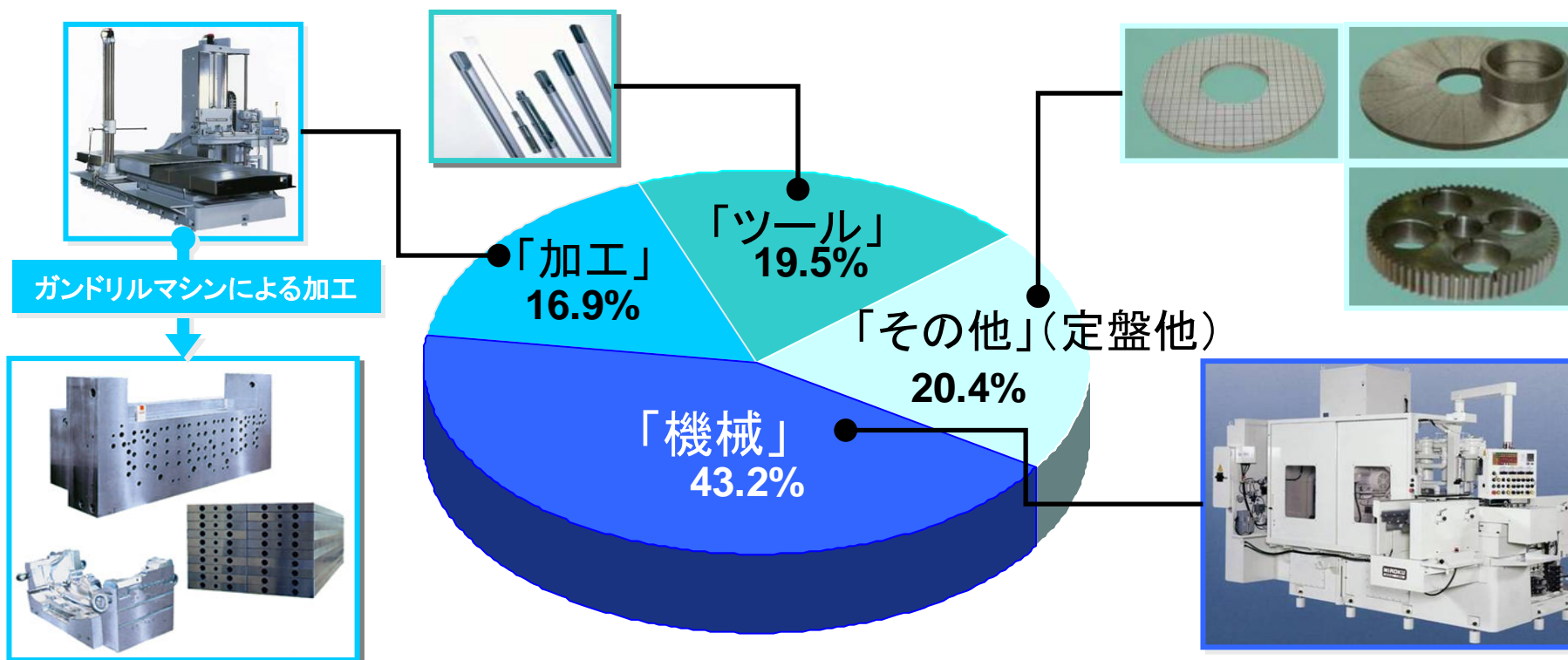


深孔加工機(ガンドリルマシン)

工作機械事業の事業内容・特色①: 全体構成

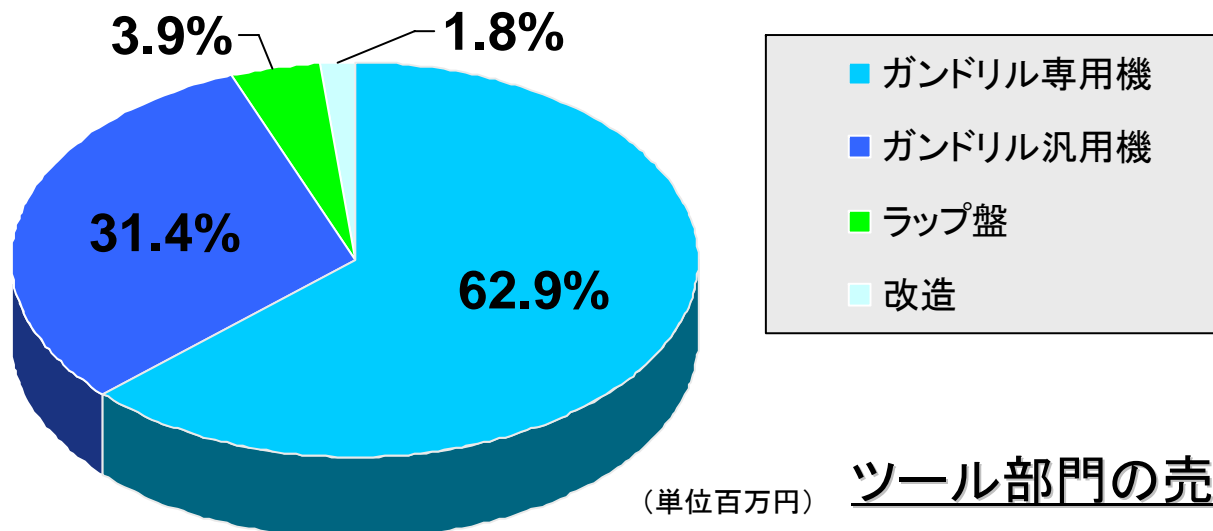
- 事業の支柱は特殊な深孔加工機「ガンドリルマシン」の製造販売。
- 主要販売先は「自動車関連業界」、取引先の6割以上を占める。
- 「ツール部門」「加工部門」の存在が安定的な収益に貢献。

売上構成: 4,002百万円(08/10期)



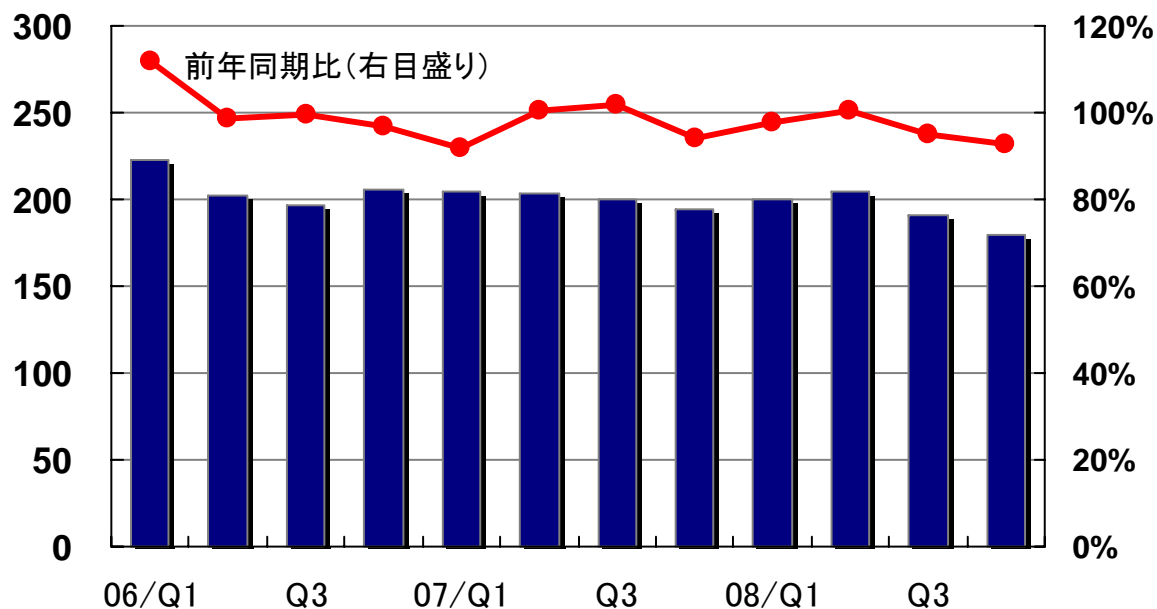
工作機械事業の事業内容・特色②：機械部門・ツール部門

機械部門の売上構成(08/10期)



ツール部門の売上推移(四半期別)

(単位百万円)



(注) 当社の決算は10月。06/Q1:05/11~06/1。

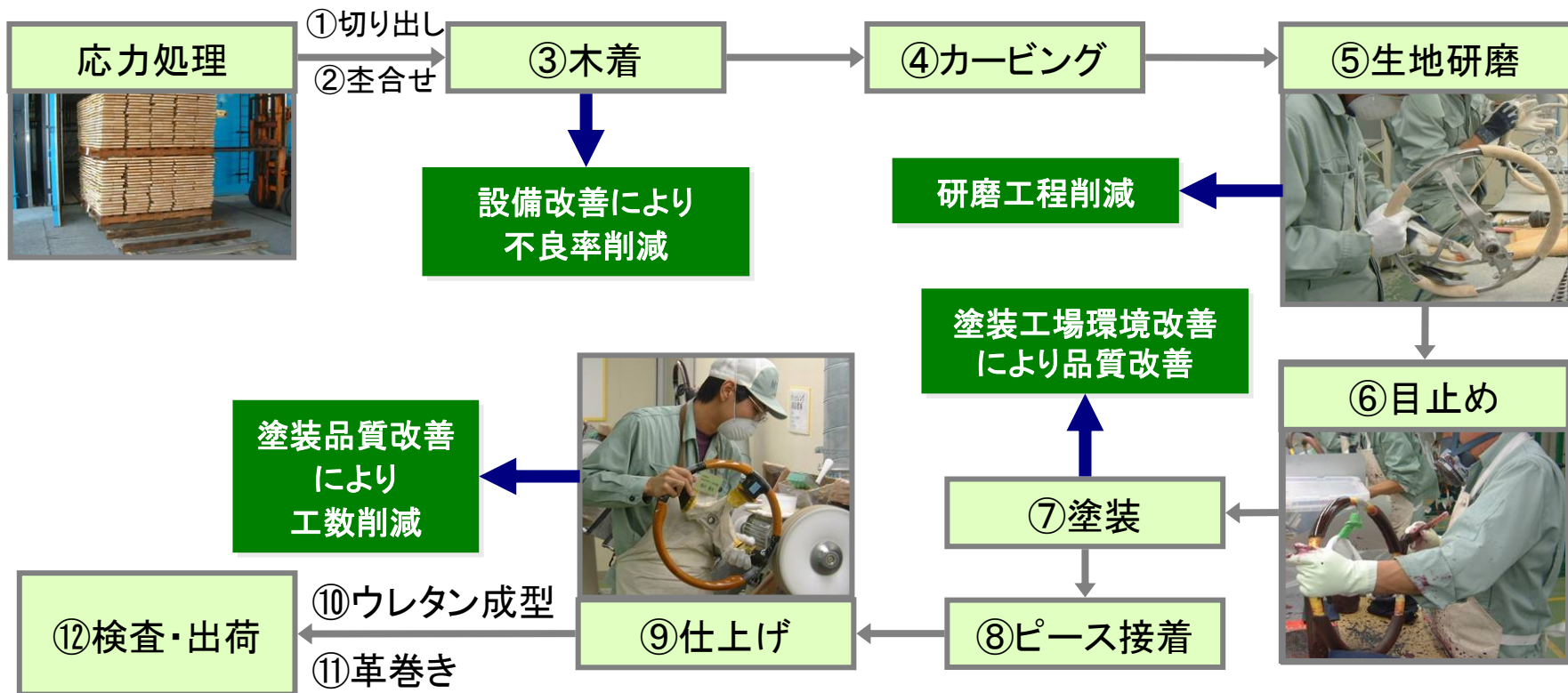
Q1:11月~翌年1月 Q2:2月~4月

Q3:5月~7月 Q4:8月~10月

自動車関連事業の事業内容・特色

1. 「純木製ハンドル」が主力。美観、強度、フィット感に優れた逸品。
2. 工業“技術”と匠の“技”が融合。
3. 東海理化Gとの合併会社MTWが製造。トヨタ生産方式を実践。

主力製品「純木製ハンドル」の製造工程



ミロクグループの“モノづくり”と“モノづくりの基本理念”

— MIROKUグループの“モノづくり” —

最新の工業“技術”と
匠の“技”の融合

高い精度と堅牢さ

自然素材へのこだわり
(地球環境に配慮)、
“五感”に訴求

“モノづくりの基本理念”

HONESTY

正直でなければつukれない。

誠実でなければつukる資格がない。

- モノづくりに正直であること。 …モノづくりに込める匠の技と心
- 技術に正直であること。 …常に最良をめざす一途な探究心
- お客様に正直であること。 …お客様の声に真摯に耳を傾けること



2008年10月期連結決算

連結決算概要

(百万円、%)

	07/10期	08/10期		08/10期予想 (2008.6.10)
			前年同期比	
売上高	15,231	15,223	99.9	15,900
営業利益	686	705	102.8	790
経常利益	980	967	98.7	980
当期純利益	712	556	78.1	650

▶ **売上高はほぼ前年並み、修正予想(2008.6.10発表)は下回る**

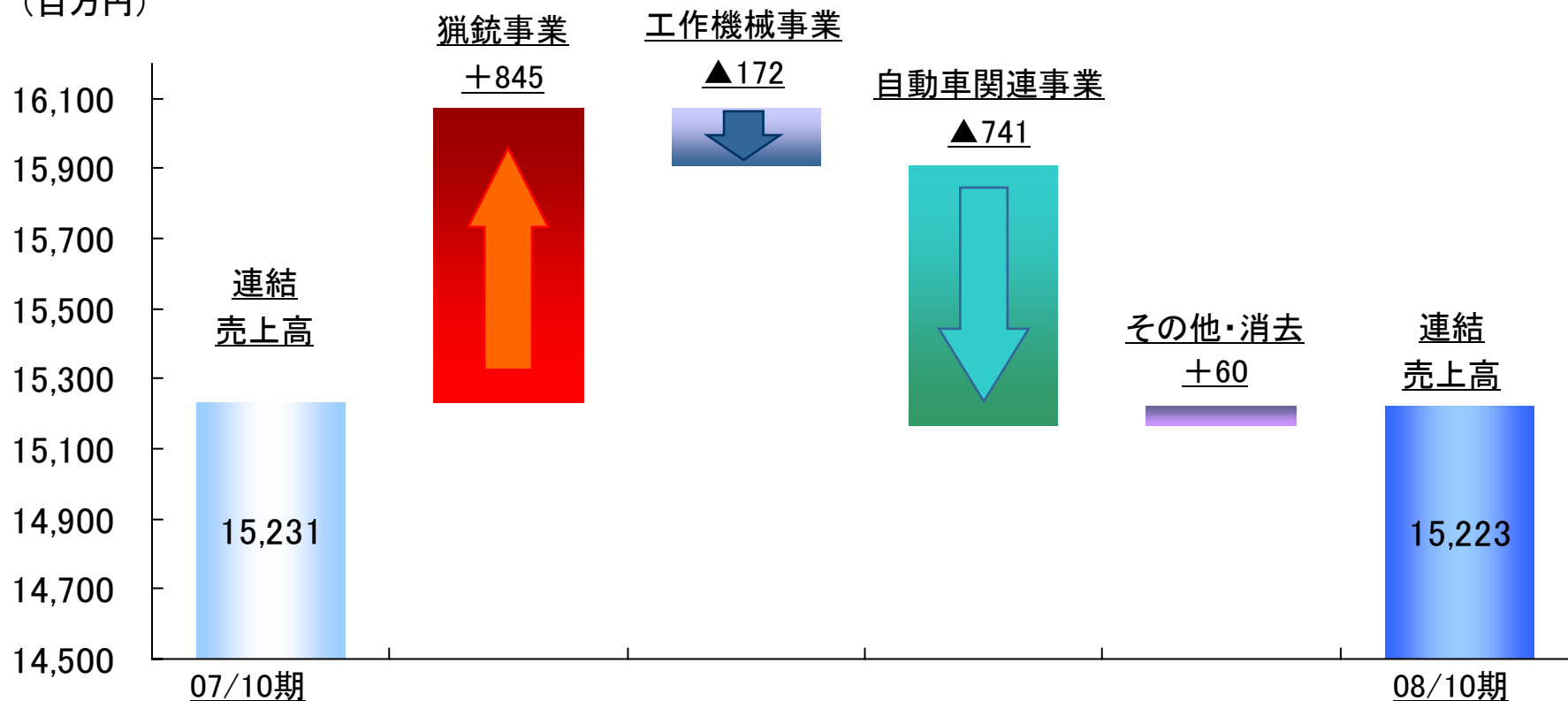
✓ 猟銃事業は前年同期実績を上回ったが、工作機械、自動車関連事業で下回った

▶ **営業利益は前年比微増、経常利益は同微減、当期純利益は同△22%減**

✓ 営業利益は、猟銃事業では回復、工作機械事業では減少。持分法投資利益の減少が経常利益に影響。

連結売上高

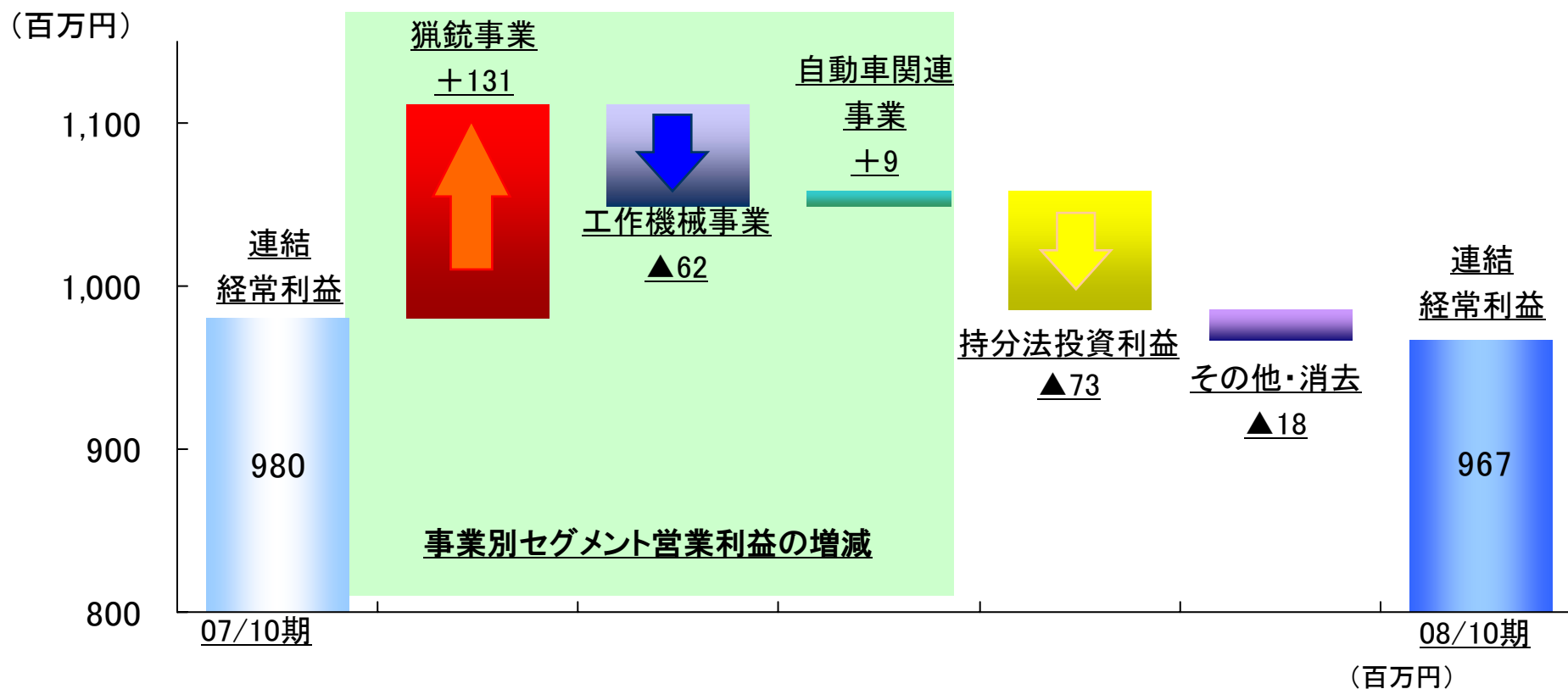
(百万円)



(百万円)

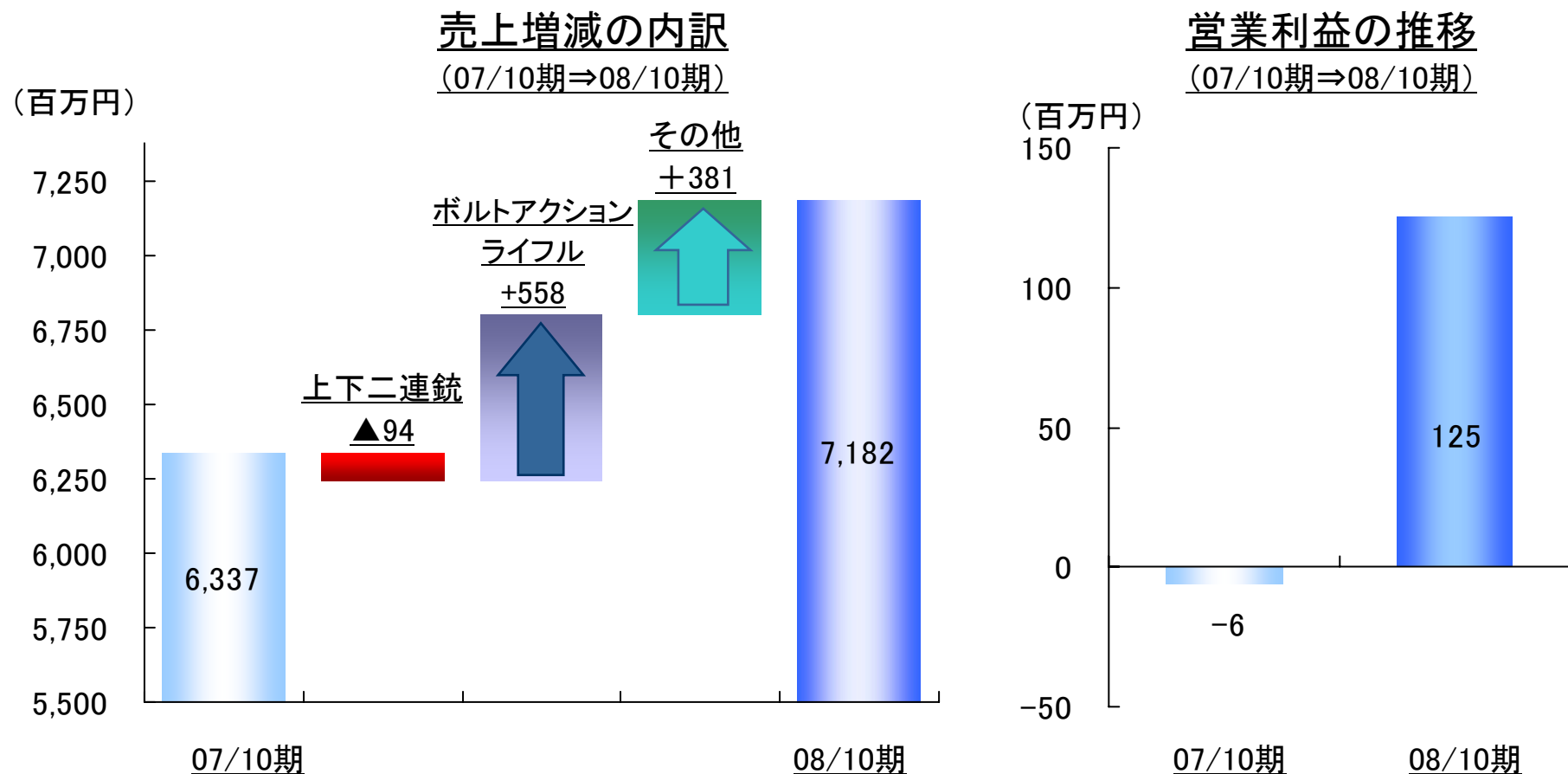
		07/10期	08/10期(左:金額 右:前年同期比)	
連結 売上高	猟銃事業	6,337	7,182	113.3%
	工作機械事業	4,174	4,002	95.9%
	自動車関連事業	4,769	4,028	84.5%
連結	営業利益	686	705	102.8%

連結経常利益



		07/10期	08/10期(左:金額 右:前年同期比)	
連 結 営 業 利 益	猟 銃 事 業	△6	125	—
	工 作 機 械 事 業	890	828	93.0%
	自 動 車 関 連 事 業	18	27	152.0%
連 結 経 常 利 益		980	967	98.7%
	持分法投資利益	250	177	71.1%

猟銃事業：売上高・営業利益

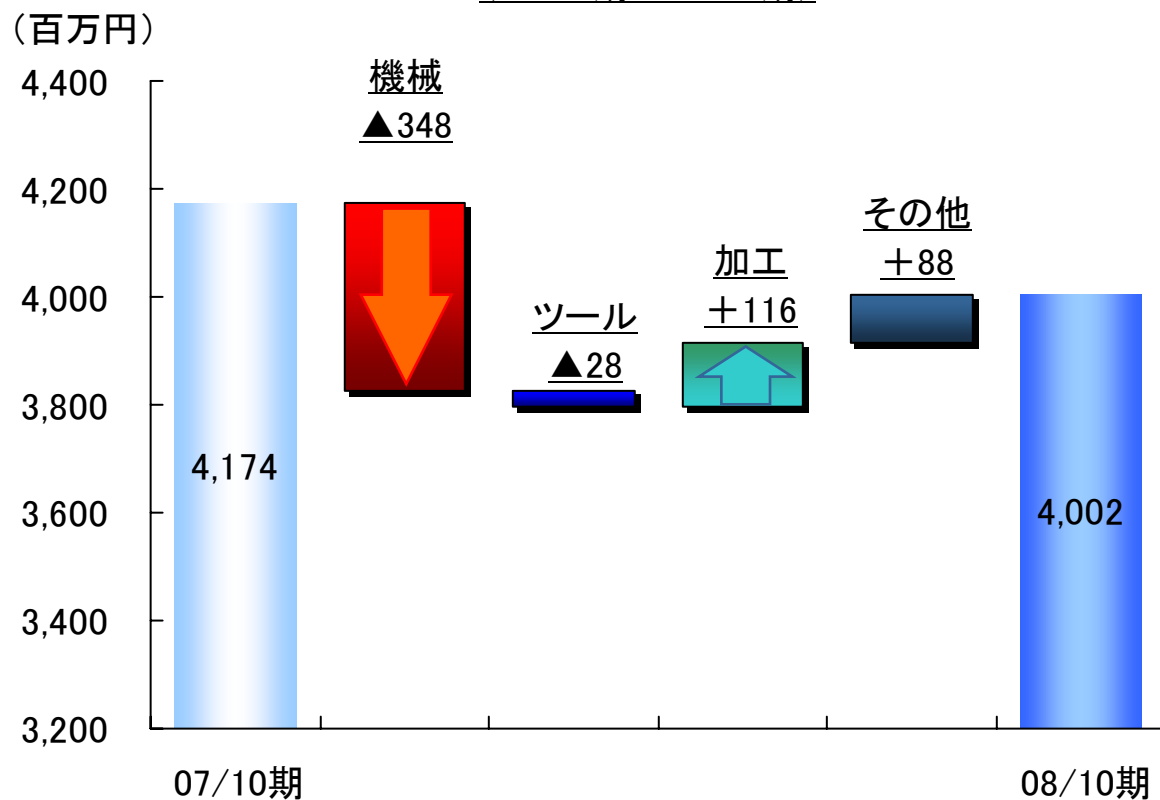


受注残と新製品効果から売上高は大幅増、生産が軌道に乗り営業利益も黒字化

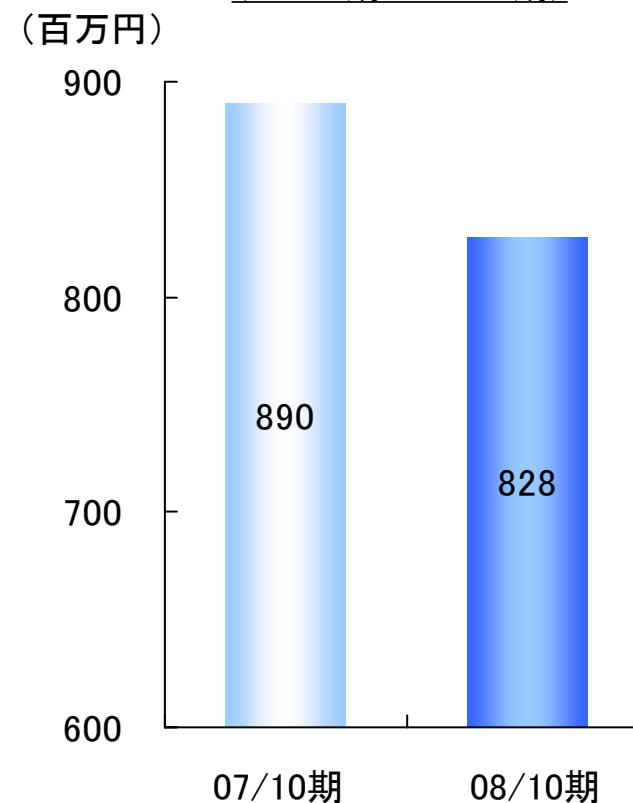
- ✓ 新製品ボルトアクションライフル(X-BOLT)が好評、販売数量増加に大きく貢献
- ✓ 第2四半期(2~4月)に営業損益(累計)が黒字化、以降、利益の積上げを図れた。

工作機械事業①: 売上高・営業利益

売上増減の内訳
(07/10期⇒08/10期)

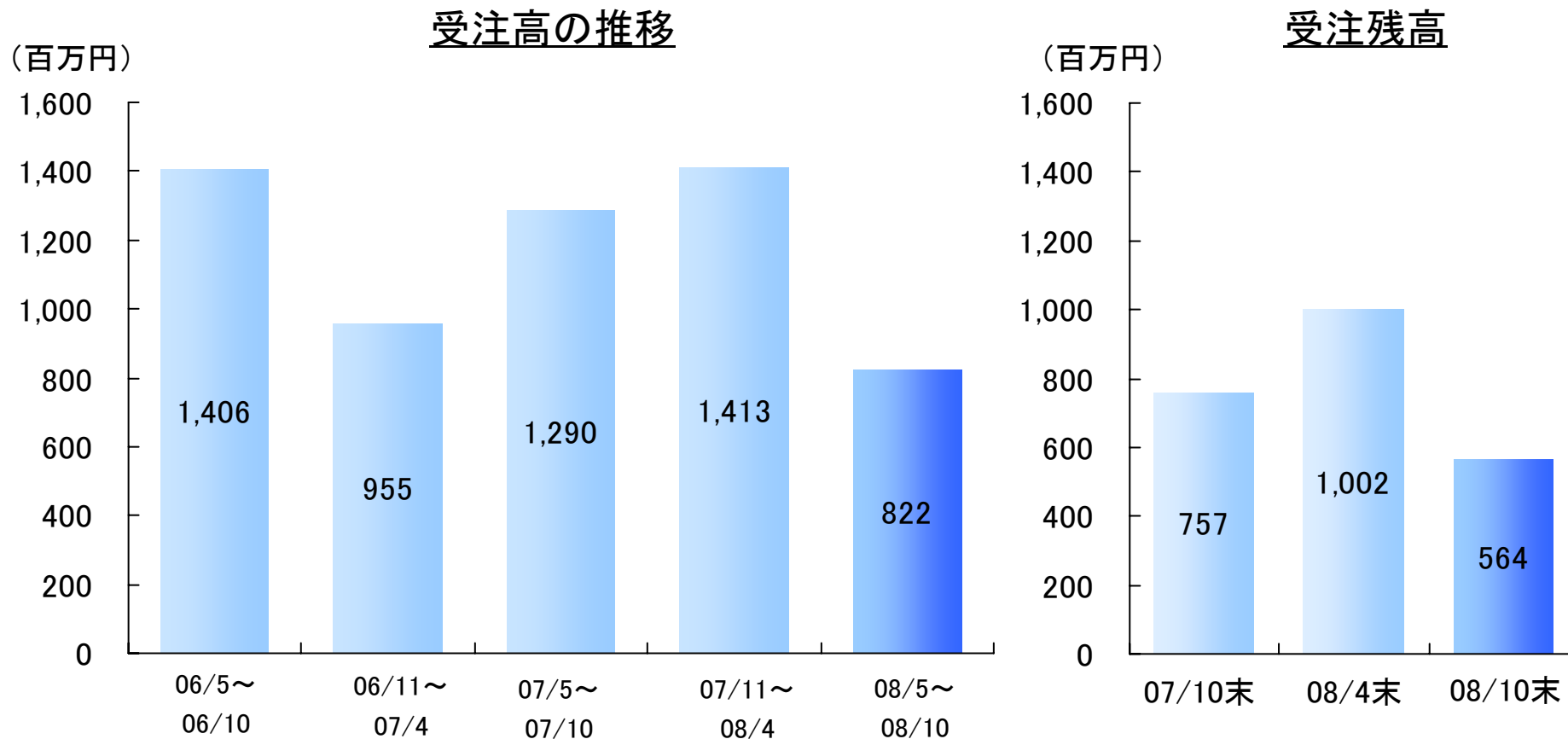


営業利益の推移
(07/10期⇒08/10期)



▶ ガンドリルマシンの売上減により、前年同期比減収・減益

工作機械事業②：受注高・受注残高

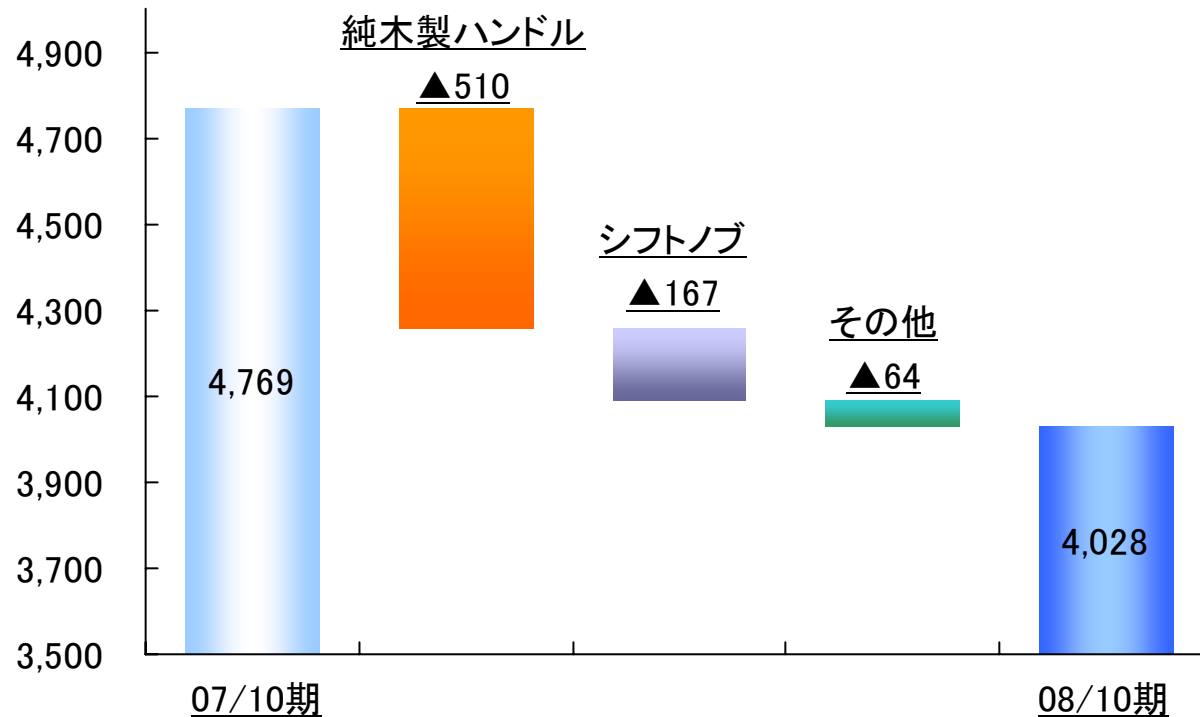


▶ 下期(08/5~08/10)に受注高が減少に転じ、期末受注残高は対08/4で半減

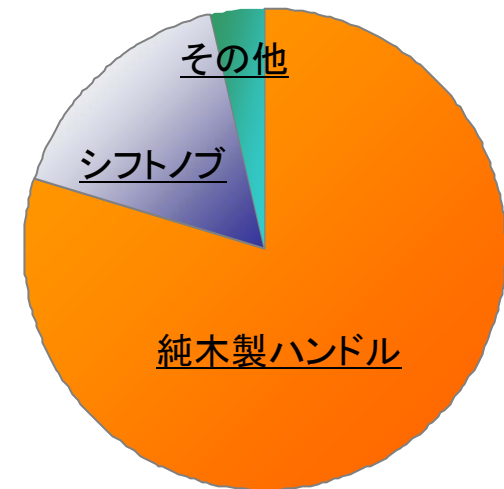
自動車関連事業：売上高

売上増減の内訳
(07/10期⇒08/10期)

(百万円)



売上構成の内訳
(08/10期)



▶ 純木製ハンドル、シフトノブともに売上が減少

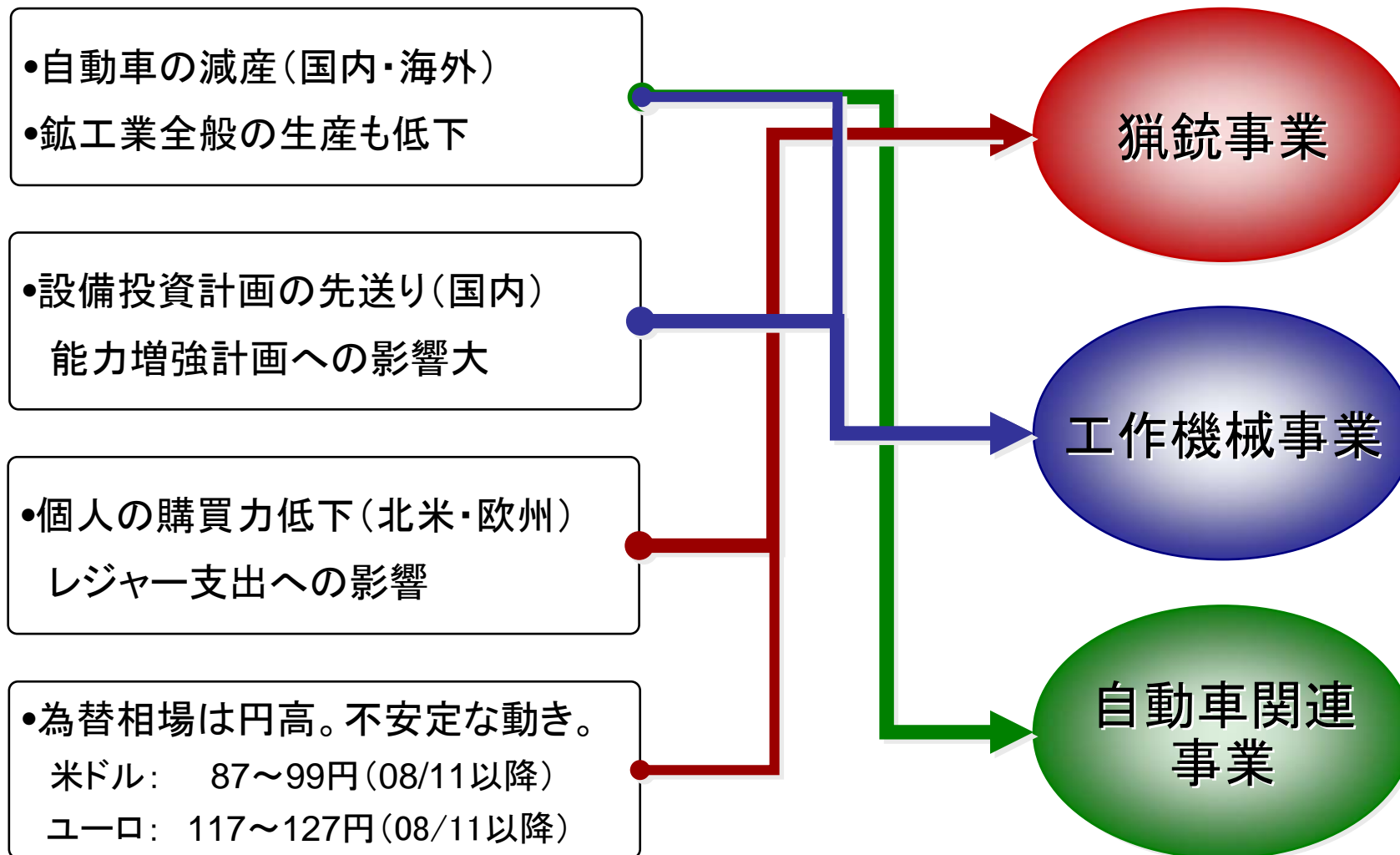
- ✓ ガソリン高騰の影響により大型車から小型車へのシフトが進む中、純木製ハンドルやシフトノブの搭載車種が減少



2009年10月期連結業績予想

当社の事業環境変化に関する基本認識

主力3事業ともに、事業環境の不透明感は増大、非常に厳しい



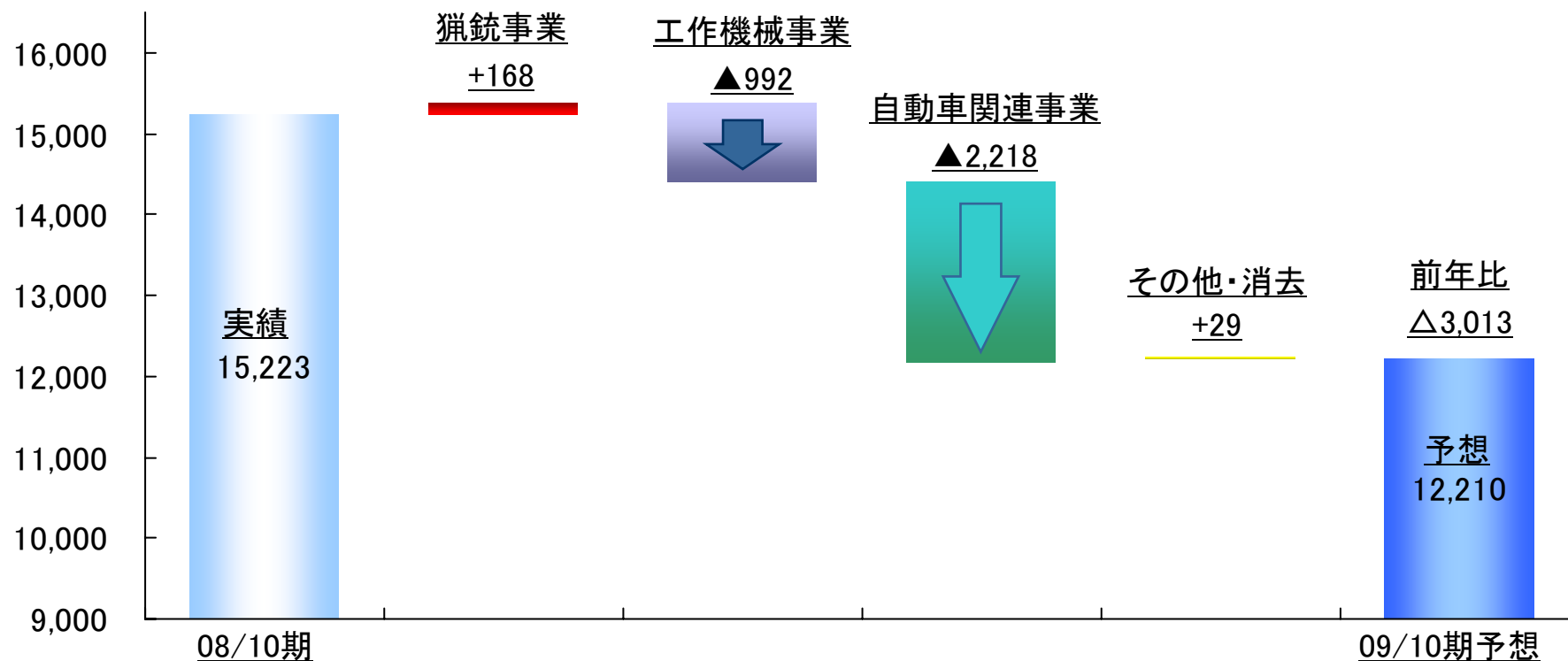
業績予想(要約)

(百万円、%)

	08/10期 (実績)	09/10期	
		(予想)	前年比
売上高	15,223	12,210	80.2
営業利益	705	100	14.2
経常利益	967	20	2.1
当期純利益	556	30	5.4
設備投資	509	600	117.9
減価償却費	775	860	111.0

連結売上高予想

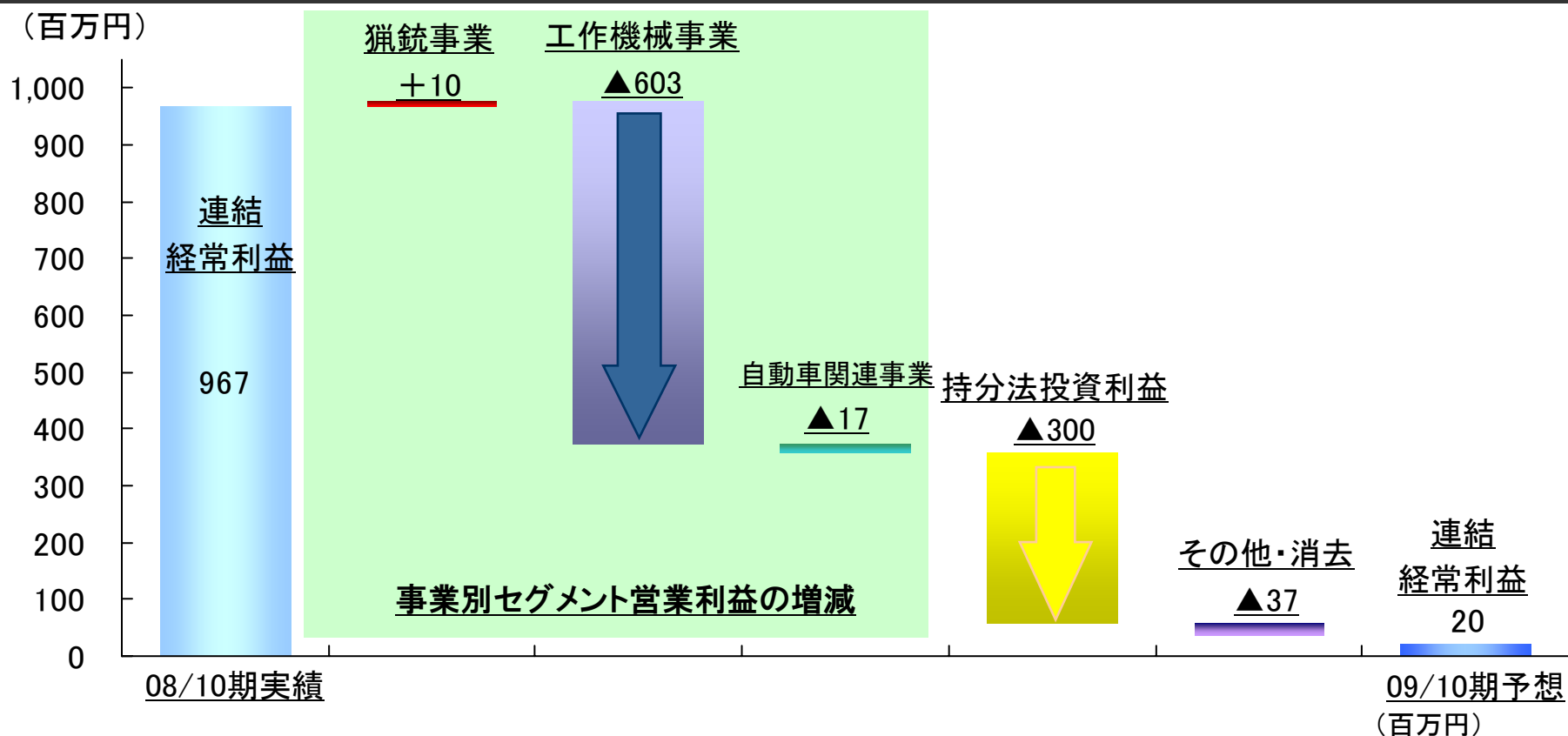
(百万円)



(百万円)

		08/10期実績	09/10期予想 (左:金額 右:前年同期比)	
連結 売上高	猟銃事業	7,182	7,350	101.0%
	工作機械事業	4,002	3,010	75.2%
	自動車関連事業	4,028	1,810	44.9%
連結	経常利益	967	20	2.1%

連結経常利益予想



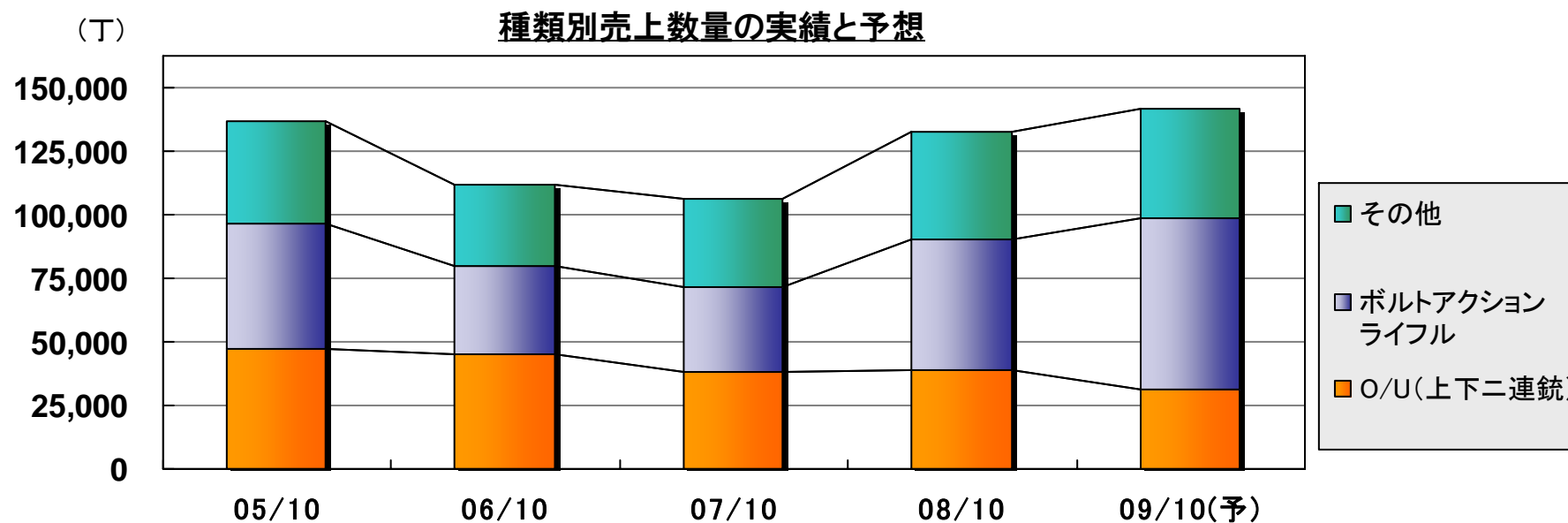
		08/10期実績	09/10期予想 (左:金額 右:前年同期比)	
連結 営業利益	猟銃事業	125	135	108.0%
	工作機械事業	828	225	27.2%
	自動車関連事業	27	10	37.0%
連結 経常利益		967	20	2.1%
	持分法投資利益	177	△123	-9%

猟銃事業①：業績予想の前提条件と当社の対応

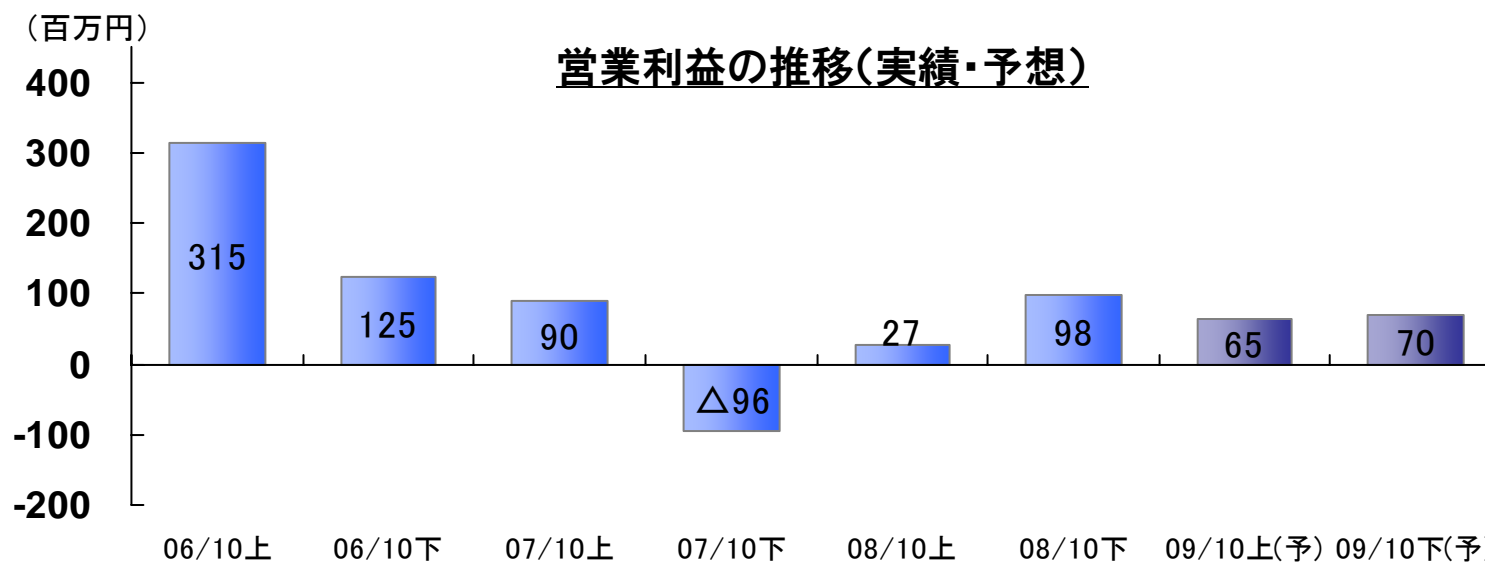
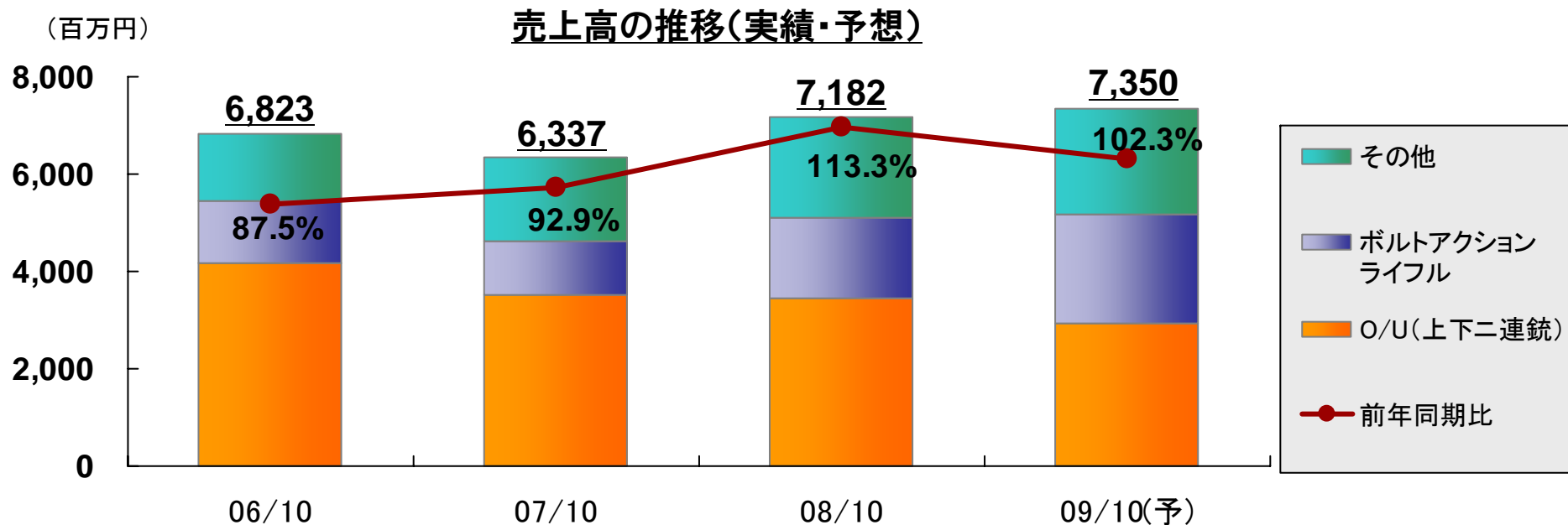
- 条件①. 当面、新製品効果は見込まれるが、その後の減速懸念は強まっている。
- 条件②. 高価格品から中・低価格品へ、上下二連銃からライフルへの需要シフト。
- 条件③. 販売先からオーダーの小ロット化、短納期化の要請が強まる。



- ボルトアクションライフルを利益の柱にするための事業構造改革
新製品X-BOLTのバリエーションモデルの拡充
原価低減(材料・外注費削減、工数削減、経費削減)



猟銃事業②：売上予想の内訳と営業利益予想



工作機械事業①：業績予想の前提条件と当社の対応

- 条件①. 企業の設備投資の手控えが予想され、機械部門の受注減少は避けられない。
- 条件②. 自動車生産等の鋳工業生産の低下、低迷が予想され、ツール部門も厳しい。
- 条件③. 鋼材価格等の低下は見込まれるものの、メリット享受にはタイムラグが発生。



・顧客基盤強化

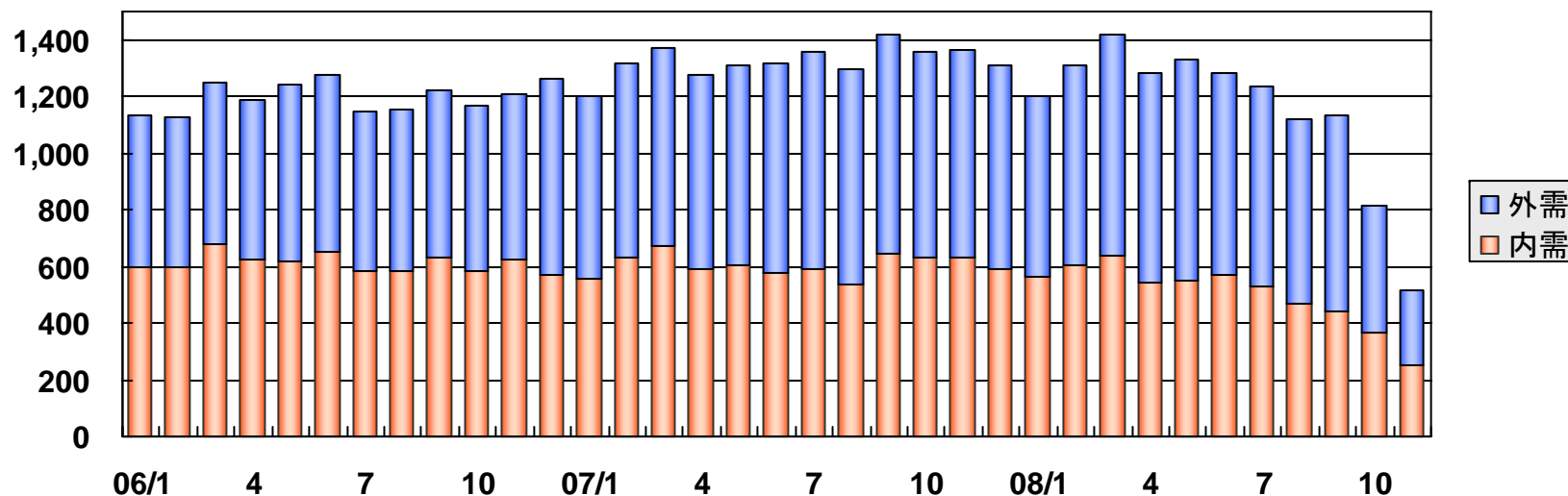
機械部門：汎用機の廉価版の販売促進と海外市場の開拓

ツール部門：スターガンドリルの顧客獲得

・原価低減：専用機種コンパクト化の推進

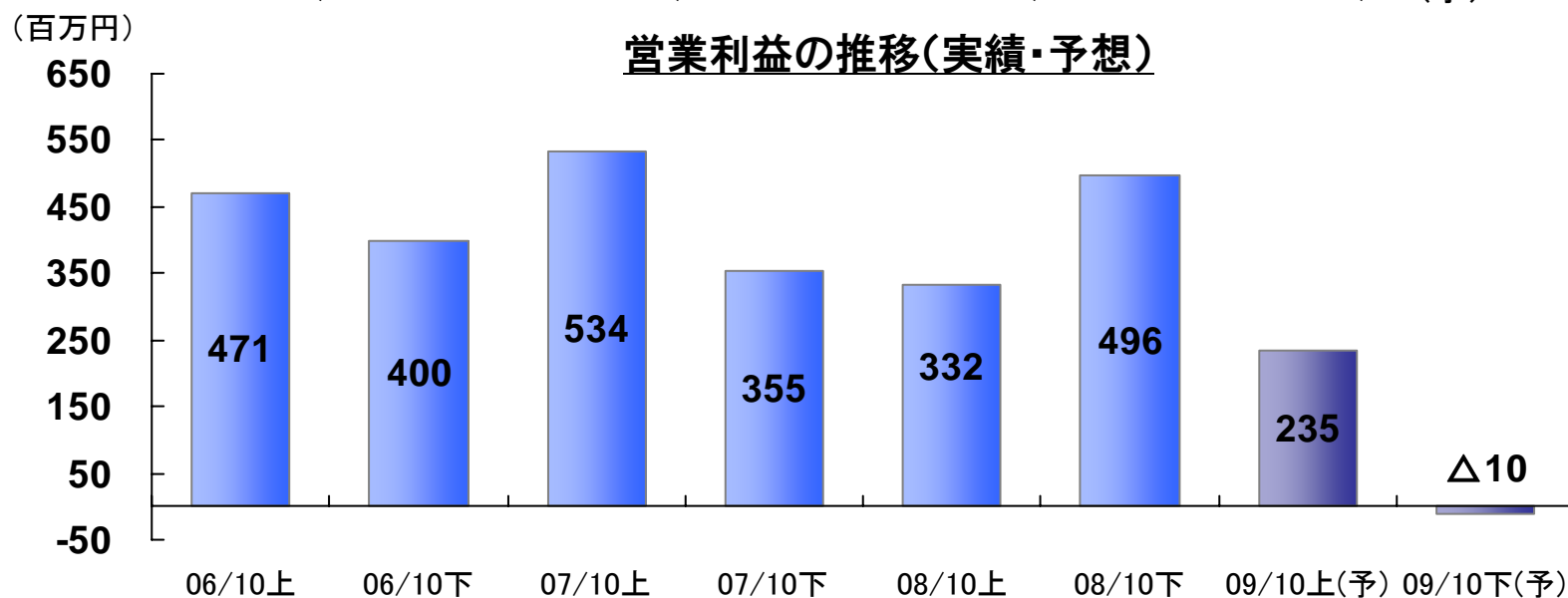
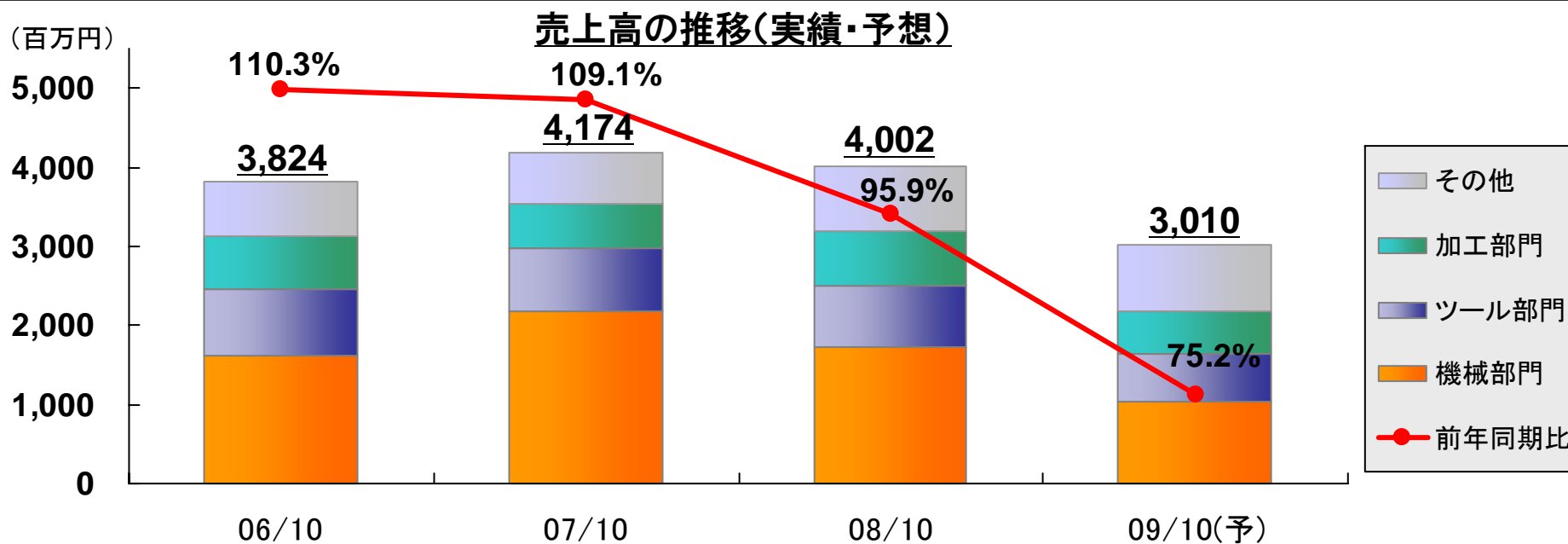
(億円)

工作機械受注の推移



出所：(社)日本工作機械工業会

工作機械事業②：売上高予想の内訳と営業利益予想



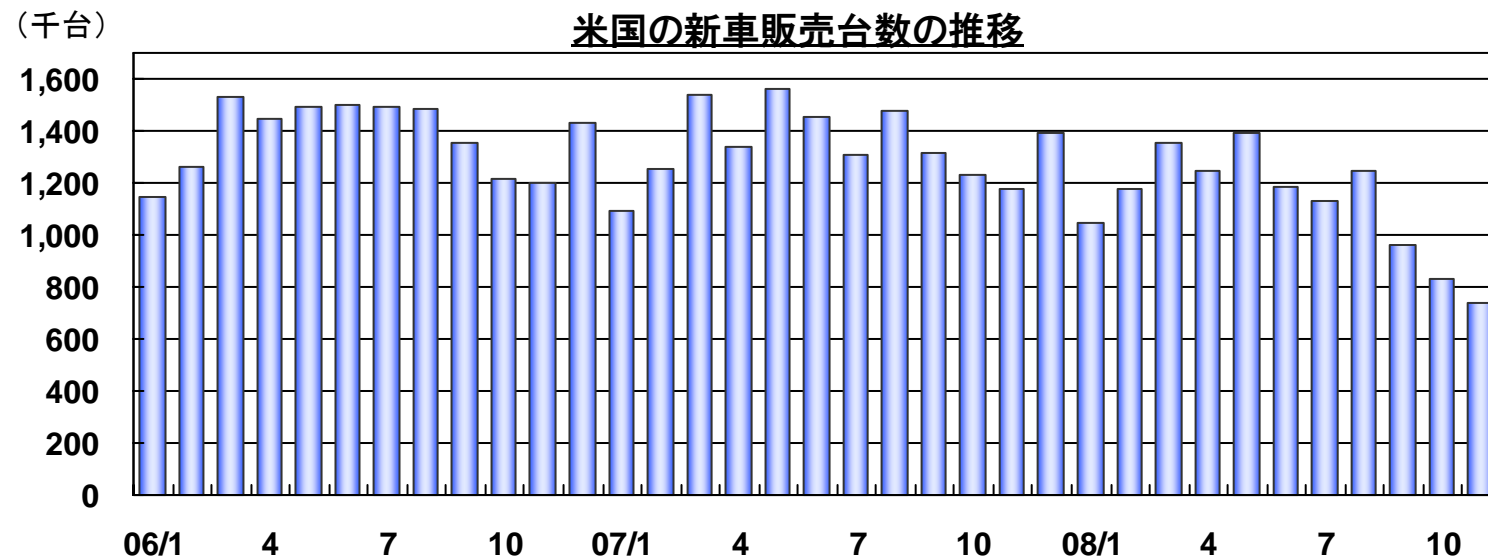
自動車関連事業①：業績予想の前提条件と当社の対応

条件①. 米国新車販売が低迷。09/10期の回復を見込まず、販売数量の大幅減を想定。

条件②. 新製品開発は継続するが、市場投入のタイミングを含め厳しい状況が続く。

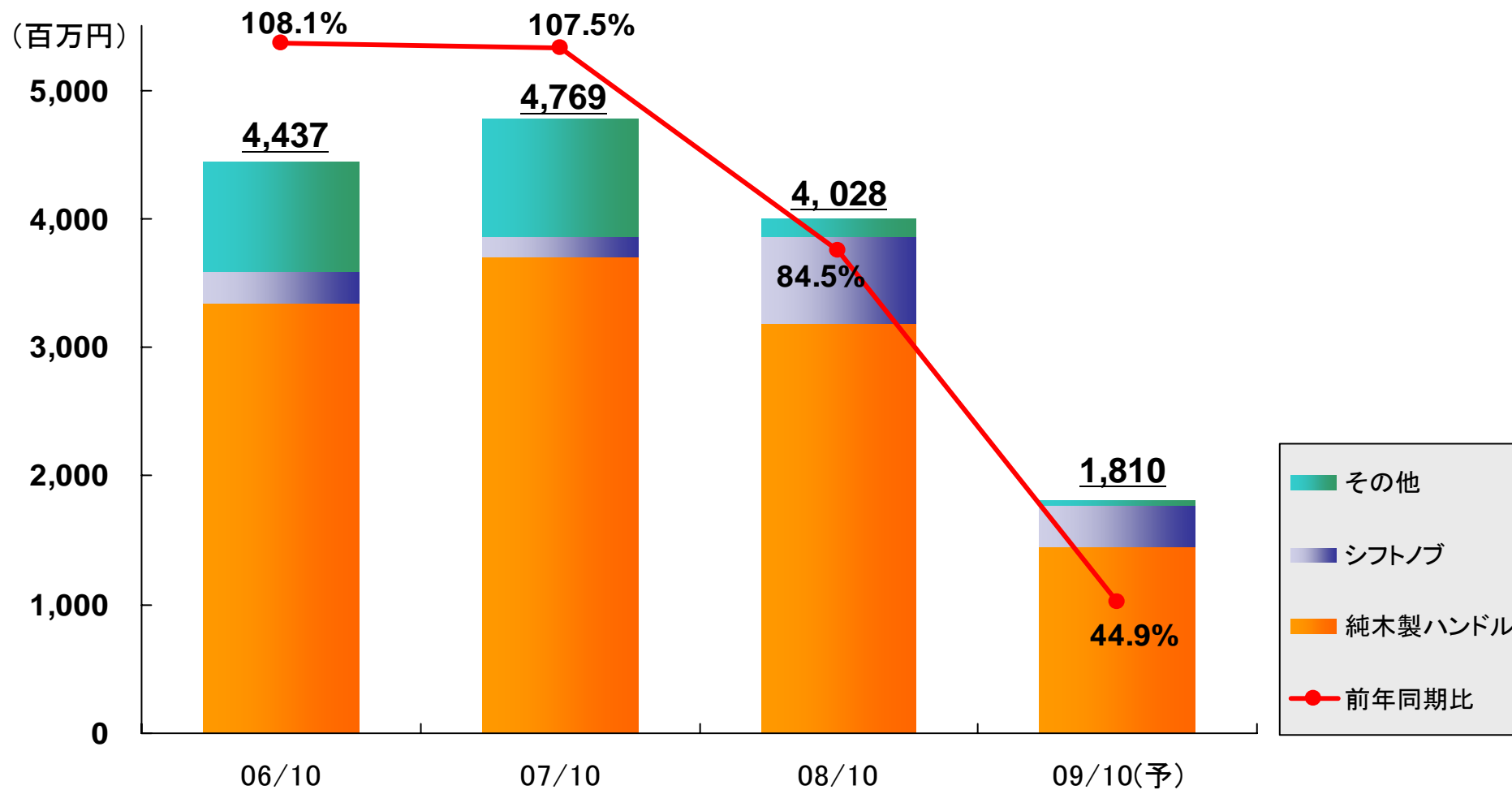


- SCA(Supply Chain Activity)の推進(内作化)
- ムダの徹底排除
- 新製品の開発



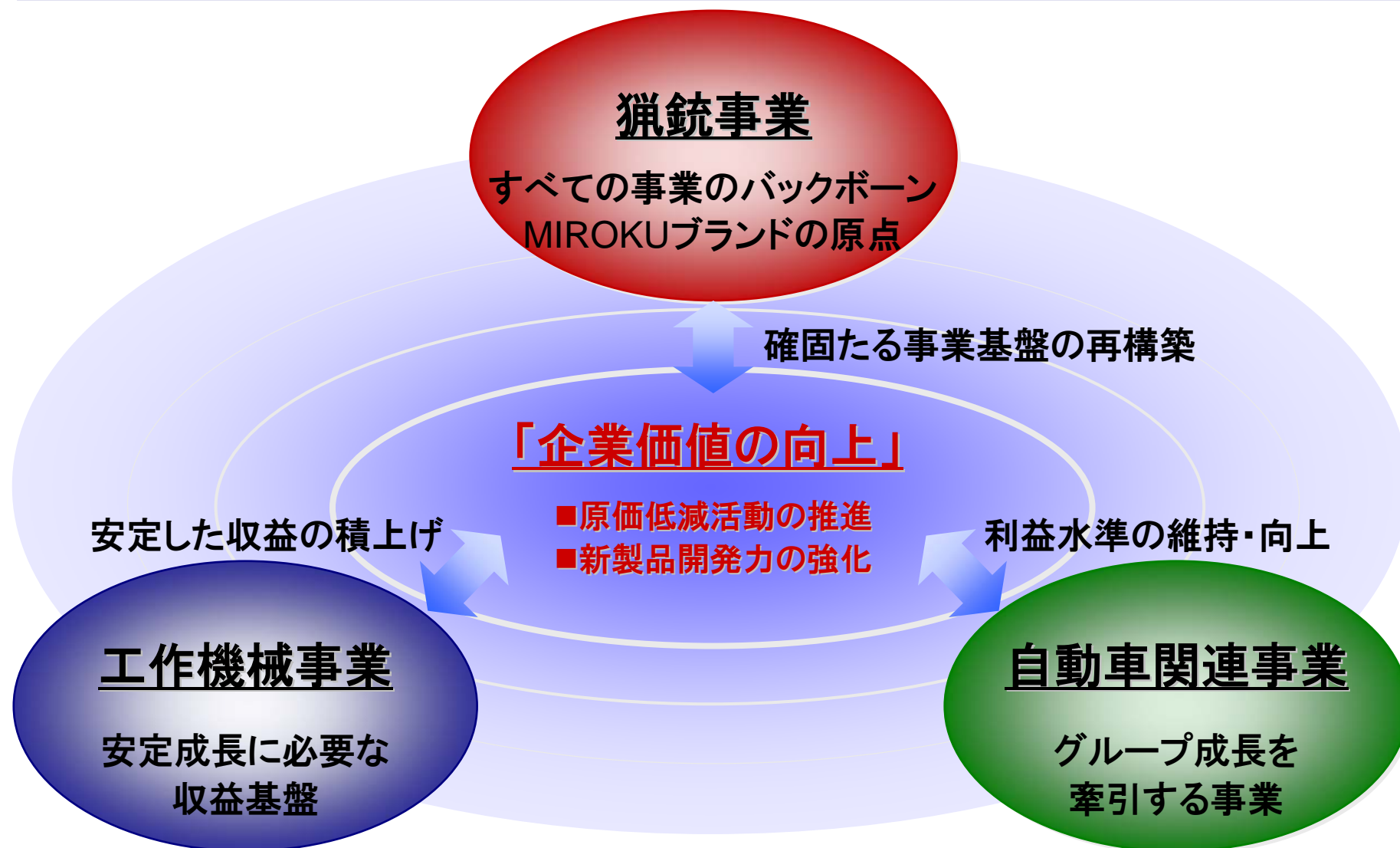
自動車関連事業②: 売上予想の内訳

売上高の推移(実績・予想)



MIROKUグループの基本方針

中核3事業の“強み”を活かした事業展開の推進





補足資料

猟銃事業①:「ロングガン」というカテゴリー

ロングガンの用途:ハンティング & スポーツシューティング

銃砲

民需

軍需

ロングガン

ハンドガン

当社の事業領域



ショットガン



上下二連銃



ポンプアクション

ライフル



ボルトアクション

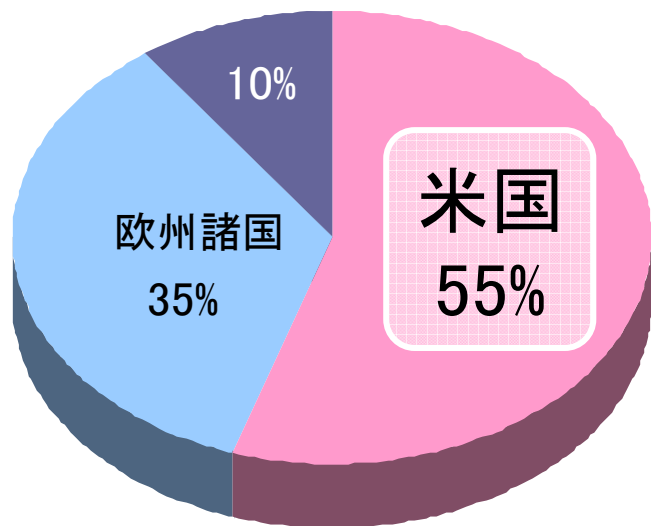


レバーアクション

猟銃事業②：ハンティングはポピュラーなレクリエーション

＜「ロングガン」世界需要構成イメージ＞

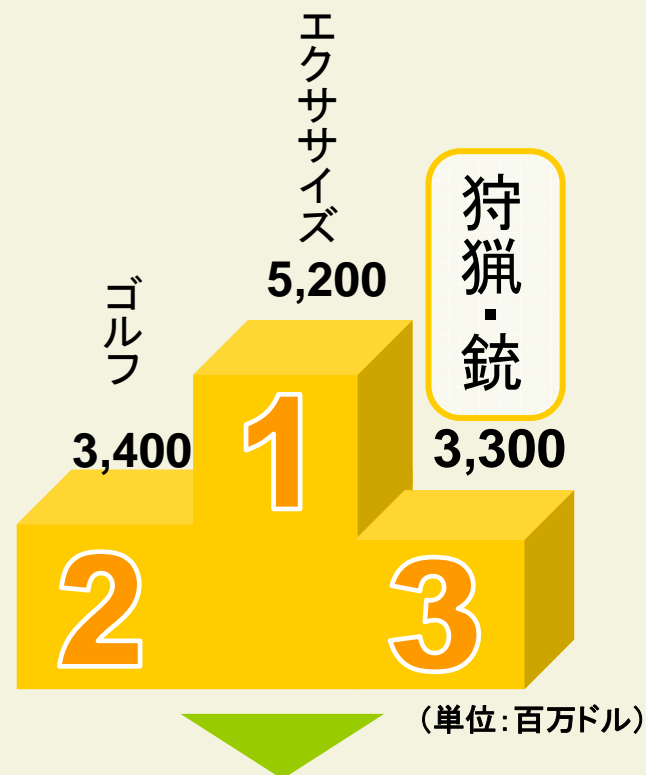
オセアニアその他



＜ 銃砲所有者数 ＞

- 米国……4,400万人
- 日本……… 18万人

米国の運動競技・スポーツ用品
販売ベスト3



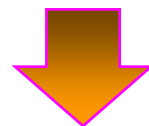
ゴルフと同等のレベル

猟銃事業③:モデルのシリーズ化とは?

▶ モデルチェンジを継続的に行い、ファンの固定化につなげる

Citoriシリーズ・・・1973年に初代モデル誕生	以降	1988年	Citori325
		1995年	Citori425
		2002年	Citori525
		2007年	Citori625 (最新モデル)

Citori525



- ✓ トリガーの切れ味30%改良
- ✓ 外観デザイン(新彫刻、台木網目)

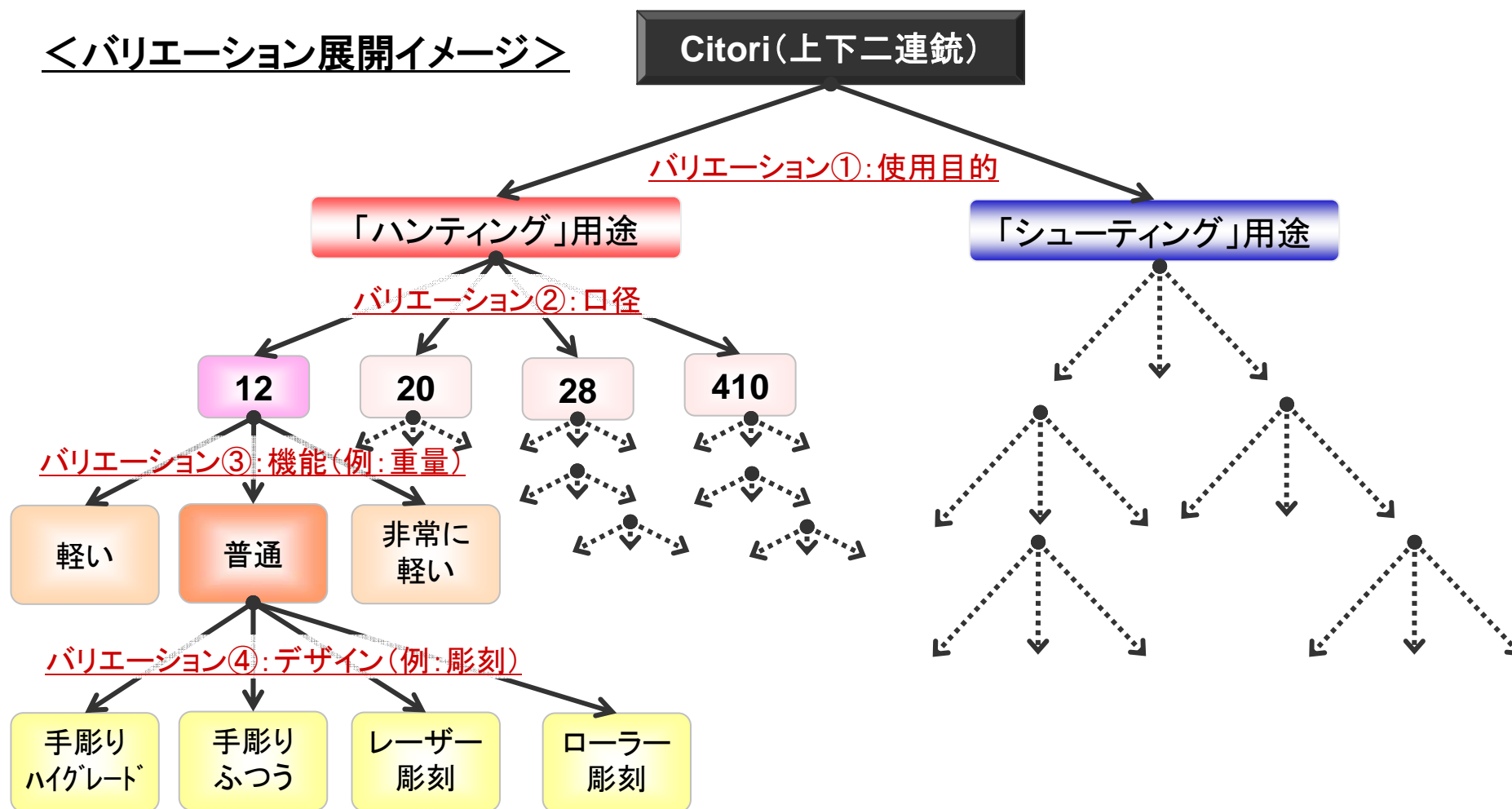
Citori625



猟銃事業④：バリエーション展開とは？

▶ 顧客ニーズにきめ細かく対応、新規ユーザーの獲得につなげる

＜バリエーション展開イメージ＞





(ご注意)

本資料の業績予想は、本資料の発表日現在において、入手可能な情報に基づいて作成したものであり、実際の業績は、今後様々な要因によって異なる結果となる可能性があります。いかなる確約や保証を行うものではありません。

